

いちはら市民ネットワークは市民がつくる政治団体です



県議会議員
山本友子



市議会議員
小沢みか

いちはら市民ネットワーク通信



発行：いちはら市民ネットワーク 代表 桑田尚子

市役所本庁舎耐震対策案 「4つの選択肢」ここがポイント

案②・案④は、庁舎を新築 バリアフリーや省エネなどに配慮した設計が可能。
案③・案④は、機能の一部を五井駅西口に分散 市民の利便性やビルの老朽化などが問題

1 現市役所を改修し、将来新築する

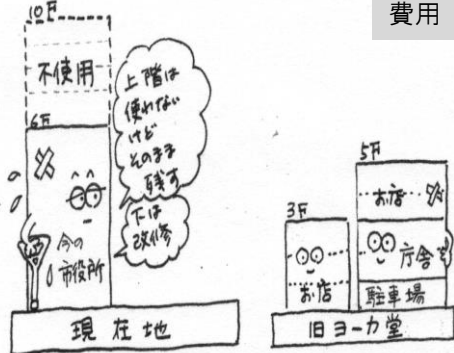
費用 約 227.7 億円



▼近い将来新築するならば、初期の改修費は無駄になるのでは？
▼改修の間の仮設庁舎の建設費はどこにいったの？

3 現市役所を改修。旧ヨーカ堂ビルを改修して市役所機能を分ける。

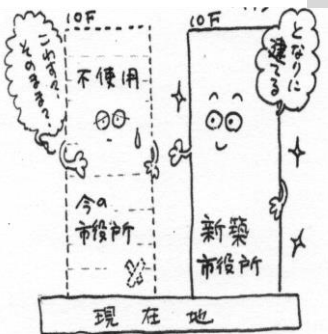
費用 約 174.8 億円



▼旧ヨーカ堂ビルは築 36 年だが耐震強度や改修費は？将来建て替える必要があるのでは？
▼旧ヨーカ堂ビル側の駐車場は 82 台で足りるのか？

2 現市役所の隣接地に新築する

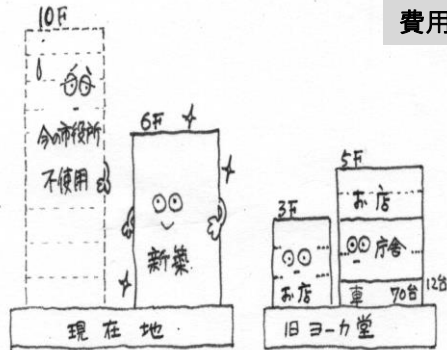
費用 約 151.7 億円



▼どんな庁舎にするのか？市民の利便性・環境に配慮・IT化への対応など新築にあたり検討したのか？
▼解体費用は約 9.5 億円だが、上記費用には含まれていない。

4 現市役所の隣接地に新築。旧ヨーカ堂ビルを改修して市役所機能をわける。

費用 約 128.3 億円



▼市役所業務のどの機能を移すのか？将来にわたってこのままでいいのか？
▼防災拠点として旧ヨーカ堂ビルはふさわしいのか？



急ぎすぎ！

市役所建て替え・移転計画

10月1日に「市役所本庁舎の耐震対策」として、庁舎の改修・建て替え・移転計画の4つの案が発表されました。12月までに結論を出す方針ですが、あまりに急ぎすぎではないでしょうか。

◆ 最有力は案④

市では、昨年8月から庁内検討会議を立ち上げ、並行してコンサルタント会社(株)長手に手法検討調査を委託。今年8月に当社から示された4つの案について、有識者から意見を聞いています。

◆ 議会の意見は？

議会では、市議小沢みかが委員を務める「災害に強い市原のまちづくりに関する調査特別委員会」で検討を行いました。ここでは、全委員が「耐震対策と庁舎のあるべき姿は切り離して議論すべき。案③、案④のような旧ヨーカ堂ビル移転は緊急避難であり、分庁ありきとはならないように」との意見で一致し、10月に意見要望書を市長に提出しました。

◆ なぜそんなに急ぐのか

4つの案以外の案はなぜ消えたのか、機能を分けることによるデメリットはどこまで検討されているのか、不使用となる現庁舎をどうするのか、旧ヨーカ堂ビルの老朽化対策は検討したのか…。疑問点

◆ 市民ネットは 質問状提出

そこで市民ネットは、市に対し9月25日付で質問状を提出しました。

◆ もっと市民と話し合いを

市は今年中には方針を決定することですが、10月1日の市民への発表からわずか3カ月。市民からの意見募集も22日間で締め切られてしまいました。この状況で決定するのはあまりに拙速ではないでしょうか。将来に禍根を残さないためにも、あらゆる情報や市の考えをもっと市民に明らかにして議論を重ねるよう、市民ネットは市に働きかけていきます。

は山積みですが、市からは納得できる説明はありませんでした。